

---

# 叶える仕事

ボーン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

叶える仕事

### 【著者名】

ボーン

N66920

### 【あらすじ】

初詣に際し、少女にはどうしても叶えたい願い事があった。彼女が願い事を唱え終わると、ぽんつと派手な音を立てて目の前に妙な着物を着た少年が出現した。

新年明けましての初詣に際し、少女にはどうしても叶えたい願い事があつた。

「今年こそ君とクラスが離れますよ!」

心中で唱え終わると、ぽんつと派手な音を立てて目の前に妙な着物を着た少年が出現した。もしかして願いを叶えてくれる御使いかしら。胸をときめかせる少女に少年は言つた。

「君、他人の不幸を願つたから罰則ね。そのうち軽い怪我をするから。」

じゃあ、と言つて消えようとする少年の裾を、少女は慌てて掴んだ。

「私、不幸なんか願つてないわよ。」

「願つたじゃないか。君とクラスが離れたら不幸になるって宣言してる人間をこっちは知つてるからね。」

「私、だつてその人なら知つてるわよ。ストーカーもどきでこっちは苦労してるんだから。」

「知つて願つたのか、より悪いね。」

「じゃあ、なんて願えば叶えてくれるのよ。」

少年は、うーん、と考えた後に言つた。

「例えば『Aさんが僕の思いに気付いて幸せになりますように。』と言つた人間の願いは叶えられるかもしない。或いは『社長が横領に気付かないまま穏やかな気持で亡くなってくれるように』とか

ね。」

「その願い事だつてAさんや社長は不幸になるじゃない。」

「いえ、そんなことはないですよ。僕達は人を幸せな気持にしたり穏やかな気持にしたりすることにかけてはプロフェッショナルですから。奥儀として伝わる特製の暗示でもかければ、どんな人だつてフワフワした気持にできるんです。」

「そんなの本人は望んでないでしょ。」

「望んでなくてもいいんですよ。基本的には幸せにするのが僕らの仕事であつて、願いを叶えるつていうのはまた別の話ですから。あなたが今付き合っている人だつて、僕達の仕事の成果なんですよ。」

「一体それは誰のどんな願いごとの結果なのよ。」

「それは企業秘密です。」

「言わないと帰さないわよ。」

少女は裾を握る手に力を込めた。その様子をチラッとみて、ため息を吐くと、少年は諦めたように口を開いた。

「あなたの彼氏の前の彼女さんが願つたんですよ。『彼が私と別れて、暴力を振るわれても耐えられる新しい彼女と幸せになれますよう』に。』って。」

「うそよ。だつて私は現に、耐えられないと思つてるのに。」

「それでも何故か幸せでしょ。別れたいとも思つていないはずだ。それは僕達がそういう風にあなたを作り変えたからですよ。でも残念なことに、その幸せな気持もここまでです。本人がその事実を知つてしまつと効力がなくなるもので。」

「なんてこと、してくれたのよ。」

「大丈夫です。安心してください。」

少女が呆然とし、手から力が抜けた隙を見計らつて、少年は舞い上がつた。彼の身体はもはや手の届かないところに浮上している。

「今回だけ、特別に上書きしてあげますよ。そうすれば貴方は間違  
いなく幸せになれます。僕らプロの力に間違いはありませんから。  
それでは君と、じうぞお幸せに。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6692o/>

---

叶える仕事

2010年11月2日22時56分発行